

伊勢市教育研究所

<第7号>

http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo

E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

たより



平成 29 年 1 1 月 1 5 日

伊勢市教育研究所

伊勢市桜木町 55-1 (旧さくらぎ保育所)

「スクールイノベーション総合推進事業」

早修小学校授業研究会

【研究テーマ】

「学び合い、認め合い、つながり合える子どもの育成」

☆子どもたちの学ぶ姿 生き生きと☆

今年度、伊勢市教育研究所では、新規事業として「**スクールイノベーション総合推進事業**」を立ち上げ、有緞小学校と早修小学校の2校に研究を委託しました。この事業はICT機器を有効に活用することで授業改善を図り、子どもたちの学習理解を高めることを目的としています。取組は、次期学習指導要領の重要事項である「**主体的・対話的で深い学び**」の実現にもつながっています。

10月31日（火）、先行して早修小学校で授業研究会を開催しました。

1年生「生活科」 細江教諭



1年生では「生活科」の授業が公開されました。子どもたちは事前に給食室や調理員さんの様子を調べ、見たことや聞いたことを探検カードやタブレット型パソコンに記録していました。指導者はタブレット型PCを使って給食室の中継を行い、子どもたちが調理員さんの動きを理解する支援をしました。

この日の授業では、事前学習をもとに、「**調理員さんの服装の秘密を考える**」という課題に取り組みました。調理員さんがパートによってエプロンの色を変えていることに気付き、その意味を考えることが主題となる授業でした。

子どもたちは慣れた手つきで、電子黒板に指示棒でタッチしていました。普段の授業では、タブレット操作もお手の物です。

ICT機器を活用することで、子どもたちの学習意欲を高めたり、情報を画面で共有して共に考え合ったりすることに効果があることがよく分かる授業でした。



全体会の後に、授業についての研究協議が行われました。

低学年の授業でのICT機器活用の有効性について話し合われました。

6年生では「社会科」の授業が公開されました。

単元は「明治政府の新しい国づくり」。この日の授業は、「明治政府にとってもっとも重要な政策」は何か」という課題について考え、討論するという内容でした。

子どもたちは事前に、タブレット型PCを使って、インターネットで「廃藩置県」「四民平等」「地租改正」「徴兵令」「官営工場（殖産興業）」について調べ学習を行いました。

条件は「1つの調べにおいて3回は調べること」。子どもたちは丁寧に調べ学習を進めました。授業では調べたことをもとに、一人一人が5つの政策について順位付けをし、同じ意見の仲間同士で意見交換を行いました。

「根拠をもとにして自分の意見を述べる学習」を実現するために、ICT機器やグループ学習を有効に活用した貴重な実践を公開していただきました。

6年生「社会科」高橋教諭



6年部会でも熱心な研究協議が行われました。

<皇學館大学 中條敦仁准教授より>

早修小学校では、無理のないスタンスでICT機器を活用しながら、「根拠に基づいて、筋道を立てて話すこと」を大切にされた授業づくりが実践されています。

ICT機器に精通した教員が独走するのではなく、ベテラン教員も最先端でICT機器を活用し、若手教員を巻き込みながら、学校全体で研究を進めていることが特徴的です。

子どもたちに、考える力、論理的思考力、説明力を身に付けさせるうえで、ICT機器の活用が有効であることは確かです。早修小学校で大切にされていたのは、「デジタルで学んだことをアナログに落とし込む」という終着点です。このとらえ方により、子どもたちの思考が十分に深まることが実証されたといえます。

「スクールイノベーション総合推進事業」

★ 公開授業研究会 第2弾! ★

有絹小学校 11月17日(金)

授業公開 13:30~14:15

全体会 14:30~15:00

分散会 15:10~16:20

タブレット型PC
活用

3年生・5年生の
算数科の授業が
公開されます!

